



代表取締役社長 山城正保

暮らしに、未来に、新しい風を。

皆さま方には平素より私どもおきなわフィナンシャルグループをご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

私たちは「地域に密着し、地域に貢献する」ことを経営理念として掲げ、グループ各社の連携のもとグループ総合力を発揮し、金融仲介機能を含め様々な金融サービスの提供を通じて、地域経済の発展に寄与し、堅実な経営基盤を構築してまいりました。

これもひとえに地域の皆さまや株主の皆さまからの永年にわたる温かいご支援の賜と深く感謝いたします。

このたび、当社についてのご理解をより一層深めていただくために、ここに「おきなわフィナンシャルグループ ディスクロージャー誌2024中間期」(2024年4月1日～2024年9月30日)を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

昨年の国内経済は、首相交代や衆議院総選挙などの政治情勢の大きな変動の影響を受けたほか、物価高騰や人手不足などの課題が依然として残ったも

の、堅調な内需やインバウンド需要回復によって、緩やかな回復が見られました。

一方、沖縄県の経済においては、観光客数・観光収入が前年度を大きく上回り、2024年度の名目県内総生産は過去最高となることが見通されています。今後は、国内観光客の好調な推移に加えて、北部テーマパークの開業、航空路線/クルーズ船増加等によるインバウンド需要の増加も見込まれます。そうした中、おきなわフィナンシャルグループは、2024年4月より第2次中期経営計画「成長の共創～おきなわの成長をとみに創る～」をスタートさせました。第2次中期経営計画では、過去の延長線上にない高い目標である「ムーンショット目標」を設定しています。これまでにない高い目標に挑戦し、達成することで、地域社会の成長を牽引するための盤石な体制を構築したいと考えております。2024年度は、そのスタートダッシュの年と位置付けており、お取引いただいている皆

さまのおかげをもちまして、9月には増収増益の中間決算を迎えることができました。

第2次中期経営計画のテーマである「成長の共創」には、沖縄県と当社グループがともに成長するサイクルを創出したいという想いを込めています。当社グループが県民や県内企業の課題を解決することによって地域社会の成長を牽引し、その先にある所得向上や資金需要が当社グループの取引拡大に繋がるという成長サイクルを創り出すことが、当社グループの経営理念である「地域密着・地域貢献」に結びつくと考えています。この実現に向けて、2025年もグループ役職員一丸となって取り組んでまいります。皆さまにおかれましては、今後とも引き続き格別のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2025年1月